



マンスリーしろやま9月号

HPからもご覧
いただけます



橋本市立城山小学校 令和6年9月24日発行 校長室から

1学期の終業式の時、「よく頑張った!」と自分を褒めてあげられますように。

夏休み中の工事できれいになった南校舎1階。低学年の子ども達は、やっときれいな教室に入ることができてとっても嬉しそうです。児童玄関も新しく明るくなり、登校してきたとき気持ちも明るくなっているようです。靴箱も一人ずつ分かれていて、整頓されて気持ちがいいです。新しい教室・新しい玄関で始まった、1学期後半、みんなのやる気が素晴らしいです。きっと、夏休み素晴らしい体験をしてきたからでしょうね。残り1か月足らずですが、自分の力を出し切って、大きく成長してほしいです。10月11日の終業式で、担任の先生からいただく「通知表」を見て、自分に「よく頑張ったね。」と言えると素敵ですね。みんなの頑張りに期待しています。

たくさんのボランティアの方にお世話になりました。

点字教室(4年生)



福祉学習を続けている4年生は、視覚障害のある方が使う点字について教えていただきました。50音を教えてもらった後、濁点や半濁点の打ち方も教えてもらいました。後から打っている濁点も、点字の時は先に打つそうです。50音を打った後、自分の名前を打って、名刺を作りました。すごい集中力を見せてくれた4年生。また一つ、素晴らしい体験をさせてもらうことができよかったですね。



後、自分の名前を打って、名刺を作りました。すごい集中力を見せてくれた4年生。また一つ、素晴らしい体験をさせてもらうことができよかったですね。

緑育事前授業(5年生)



緑育宿泊研修の前に、林業について学ぶ時間です。和歌山県は森林の多い県です。その森林の役割を教えていただくとともに、森林を守るためにどんな仕事をしているのか、どんな道具を使っているのか詳しく教えていただきました。講師先生のお話に、興味津々の子ども達。間伐体験を楽しみにしていました。先日実施した緑育宿泊研修については10月号にて詳しくお知らせします。



学びのサイエンス(5年生)



ボランティアではないのですが、学びの丘から講師先生が来てくださって、顕微鏡の使い方を教えていただき、顕微鏡でチラシを見て驚いたり、小さな生物を見て感動したりしました。とっても精密な顕微鏡なので、学校ではなかなか見ることができません。だからこそ、子ども達から歓声が何度も起きました。その感動を忘れず、どんなものでも細部まで見ようという気持ちを持ってほしいです。



ミシンボランティア(6年生)

家庭科でミシンを使ってナップザックを作ります。昨年度も使ったのですが、忘れていた子もいて、ボランティアさんにいろいろ教えてもらっていました。ちょっとした一声で、上手に縫うことができている、さすがベテランボランティアさんだなあと感じました。完成まであと何時間かあります。これからもよろしくお祈りします。その後は、5年生です。初めてなのでとっても心配ですが、皆さんのお力を借りると大丈夫ですよ。



漢字・算数教室

毎月1回、低学年を中心に、漢字算数教室を実施していただいています。用意してくださったプリントを自分のペースでやります。わからなかったらすぐ声をかけてくださるので、みんな安心して学習に取り組むことができています。時々学校のことを聞いても



らっている子もいて、子ども達は、月一回のこの時間を楽しみにしています。

陸上競技練習(6年生)



10月16日に橋本市・高野町内小学生学童陸上記録会が行われます。そろそろ本格的に練習が始まり、講師先生に来ていただき、専門的なアドバイスをしてもらっています。子ども達は、先生の的確なアドバイスで「遠くまで跳べるようになった。」「うまくできる気がする。」と成果を感じています。大会まで、先生のご都合がつく限り来ていただき、アドバイスをもらいます。子ども達が、陸上の種目を楽しみ、少しでも自分の記録を伸ばすことができますように。

